

甘藷先生の
置き土産

かんしょせんせい

政令市移行30周年記念 令和4年度企画展

〜青木昆陽と千葉のたごまいも〜

置き土産



2022

8月30日(火) ▶ 10月16日(日)

入館
無料

千葉市立郷土博物館

●開館時間 9:00 ~ 17:00
(入館は 16:30 まで)

●休館日 月曜日
(祝日の場合は翌平日)

〒260-0856 千葉市中央区亥鼻 1-6-1
TEL043-222-8231 FAX043-225-7106



郷土博物館 HP



昆陽神社
(千葉市花見川区幕張町)

京成幕張駅のすぐそばに昆陽神社があります。ここにまつられているのは、江戸時代の中頃、幕張(千葉市花見川区幕張町)の地でさつまいもを試作した青木昆陽です。

昆陽が飢饉を救うために広めたさつまいもは、やがて各地で栽培され、市内はその一大産地となりました。さつまいもは江戸に運ばれて、人々の身近な食べ物として親しまれました。また、江戸時代の末には、さつまいもを原料としたデンプン製造業が起り、デンプンを原料とした食品やアルコールなどの製造は、戦前の千葉を代表する産業でした。

なお、実際に昆陽が幕張にいたのは、ごく短い期間だったことがわかってきました。それなのに、なぜ昆陽は「芋神様」として今も人々に敬愛されているのでしょうか。

本展では、昆陽の実像や千葉市とさつまいもとの深いかわりについて紹介します。



青木昆陽肖像画
(千葉市幕張公民館蔵)



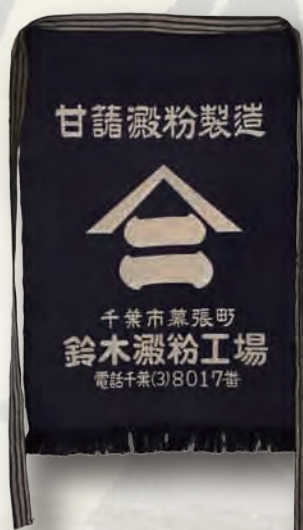
青木昆陽甘藷試作地の碑
(千葉市花見川区幕張町)



青木昆陽墓
(東京都目黒区瀧泉寺墓地)



国内勸業博覧会褒賞証
(個人蔵)



デンプン工場従業員前掛け
(千葉市立幕張小学校蔵)



参松工業 千葉工場
(昭和33年 当館蔵)

千葉市立郷土博物館

〒260-0856 千葉市中央区亥鼻 1-6-1 TEL043-222-8231

交通案内

- ◎JR 千葉駅下車、東口バス乗り場7番から京成バス「千葉大学病院」行き、または「南矢作」行きで「郷土博物館・千葉県文化会館」下車、徒歩3分
- ◎千葉都市モノレール「県庁前駅」下車、徒歩13分
- ◎JR 本千葉駅下車、徒歩15分
- ◎京成千葉中央駅下車、徒歩20分



郷土博物館
公式 Twitter

